

八幡平市

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

～八幡平市でともに暮らし、しあわせを実感できるまちを目指して～



《計画期間：2020－2026》

(令和2年3月23日庁議決定)

(令和2年9月1日改訂)

(令和6年9月2日改訂)

地方創生の実現に向けて

～しあわせを実感できるまちを目指して～

日本の総人口は、平成20（2008）年の1億2,808万人をピークに減少に転じ、令和元年（2019年6月確定値）には、1億2,625万人となっています。国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の「日本の将来人口推計（平成29年推計）」では、2115年には、3,876万人まで減少すると予測されています。また、日本創生会議が平成26年5月に発表した人口推計では、全国の地方自治体の約半数にあたる896自治体が消滅する可能性があるという予測がなされるなど、我が国の人口減少は危機的な局面を迎えています。

平成20（2008）年に始まった人口減少が今後加速度的に進むとともに、地方から人口減少が始まり都市部へ広がっていくとされ、東京圏（東京、埼玉、千葉、神奈川の1都4県）への人口の集中が日本全体の人口減少に結び付いているとしています。

このような基本認識のもと、国は、平成26年12月27日に「まち・ひと・しごと創生法」に基づく「長期ビジョン」及び「総合戦略」を閣議決定し、今後の基本的視点として次の3点を掲げています。

- ①「東京一極集中」の是正
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
- ③地域の特性に即した地域課題の解決

この基本的視点のもとに定めた「目指すべき将来の方向」を実現することにより、長期的には9,000万人程度で概ね安定的に推移する状況を目指すとしています。

本市においては、1960年代から人口減少が続いておりますが、「市総合計画後期基本計画」において、「定住化促進」、「第一次産業の生産力向上」、「大更駅周辺の賑わい創出」、「合宿の里づくり」、「滞在型観光推進」の5つを重点施策として、人口減少対策と交流人口拡大による地域活性化に取り組んでまいりました。

しかし、国全体の人口減少が進む中であって、本市の人口減少は、なかなか歯止めがかからず、このままの状況で推移すると、平成30年社人研推計では令和22（2040）年には、14,680人まで減少すると予測されています。

このような現状を正しく認識し、市民が一体となって対策を講じていくことが必要であることから、市は平成27（2015）年度に策定した「八幡平市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、令和元（2019）年度までの5年間を計画期間とし、「八幡平市人口ビジョン」の人口展望を踏まえ、4つの基本目標に基づく17のプロジェクトにより、人口減少対策を総合的に進めてきました。

これらの取組みにより、起業や新規就農の促進、スポーツ関係大会の誘致、外国人観光客の誘客、再生可能エネルギーの利用促進などの一定の成果が挙げられているものの、人口減少加速化の抑制をかけるまでには至っておらず、継続して本戦略による取り組みを進めていかなければなりません。

また、こうした状況の中、令和4（2022）年12月に、国は「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定しました。市におきましても、国・県の総合戦略を勘案し、これまでの取組みに加え、デジタル技術を積極的に活用することとし、本戦略を改訂いたします。

八幡平市が将来にわたって「しあわせを実感できるまち」であるために、本戦略のプロジェクトを推進することについて、市民・関係者の皆様のご協力をお願いいたします。

令和6年9月

八幡平市長 佐々木 孝弘

目次

第1章	はじめに	1
1.	八幡平市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本的な考え方	1
2.	計画の期間	1
3.	市総合計画との関係	1
4.	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略における国の基本方針	1
5.	計画の進行管理	2
6.	国の動向	2
第2章	人口と産業の現状と展望（人口ビジョンを踏まえて）	4
1.	将来の人口に関する課題	4
2.	産業の現状	6
第3章	現状と第1期の振り返りから見えてきた課題	7
1.	第1期総合戦略の振り返り	7
2.	人口問題の改善に向けてのまちづくりの課題	8
3.	産業問題の改善に向けてのまちづくりの課題	10
4.	持続可能なまちづくりの課題	12
5.	問題の改善に向けて活かすべき本市の特性	13
第4章	第2期総合戦略の4つの柱と基本目標	14
1.	政策の基本目標	14
2.	4つの柱と基本目標における基本的方向と数値目標	15
1.	八幡平市で働く【基本目標1】八幡平市の特性を活かした、生きがいを感じる働く場の創造	15
2.	八幡平市で育てる【基本目標2】八幡平市の地で縁を結び、次世代の成長と笑顔を育む	15
3.	八幡平市で暮らす【基本目標3】地域の元気を活かした持続可能なまちづくり	16
4.	八幡平市に人を呼び込む【基本目標4】八幡平市の豊かな自然や絆を活かし、新たな人が流入するよ うな流れを創る	16
第5章	総合戦略を進める上で重視する視点	17
1.	SDGsの推進	17
2.	Society5.0の推進	18
第6章	基本目標ごとの施策（プロジェクト）と重要業績評価指標（KPI）	19
1.	八幡平市で働く 【基本目標1】八幡平市の特性を活かした、生きがいを感じる働く場の創造	19
	・プロジェクト①八幡平市の農（みのり）のブランド強化プロジェクト	19
	・プロジェクト②地熱エネルギーを活かした地域活性化プロジェクト	19
	・プロジェクト③産業・雇用・人材強化プロジェクト	20
2.	八幡平市で育てる 【基本目標2】八幡平市の地で縁を結び、次世代の成長と笑顔を育む	21
	・プロジェクト④若者等定住促進プロジェクト	21
	・プロジェクト⑤子育て支援プロジェクト	22
	・プロジェクト⑥出会い・縁づくりサポートプロジェクト	22
3.	八幡平市で暮らす 【基本目標3】地域の元気を活かした持続可能なまちづくり	23
	・プロジェクト⑦全世代活躍の協働のまちづくりプロジェクト	23
	・プロジェクト⑧市民の八幡平市への誇りと愛着醸成プロジェクト	24
	・プロジェクト⑨地域拠点（小さな拠点）等活性化プロジェクト	24
	・プロジェクト⑩広域連携強化プロジェクト	25
4.	八幡平市に人を呼び込む	
	【基本目標4】八幡平市の豊かな自然や絆を活かし、新たな人が流入するような流れを創る	26
	・プロジェクト⑪観光客もてなし体制強化プロジェクト	26
	・プロジェクト⑫広域スポーツイベント・合宿の拠点づくりプロジェクト	27
	・プロジェクト⑬多様な働き方、暮らし方を受容した新しいまちづくりプロジェクト	27